

KIMOTO



CSRレポート 2010

Corporate Social Responsibility Report

環境側面での配慮について

本レポートは、森林環境保全に配慮したFSC認証紙、環境負荷のより少ない植物由来のベジタブルインキを使用しております。
今後もKIMOTOグループでは地球環境保全に向けたさまざまな取り組みを行ってまいります。



KIMOTO

株式会社 きもと

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-19-1
TEL. 03-3350-4701 FAX. 03-3350-9380
<http://www.kimoto.co.jp>



100年継続をめざして、“技術のKIMOTO”で、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



代表取締役社長

木本 和伸

社長就任二年目を迎えました。

就任以来、日本のお取引先300社余と海外のお取引先50社余へのご挨拶と、同時に国内の全社員（630名）との面談を計画しました。どちらもほぼ終了し、全体の印象として改めてKIMOTOへの期待は技術であることを実感いたしました。しかしながら、「初めまして」という言葉でご挨拶したお取引先も多く、コミュニケーションが大きく不足していることを感じております。

KIMOTOはコーティング技術、フィルムの表面処理技術で知られていますが、実は画像処理技術から始まっていることを、お取引先へのご挨拶や全社員との面談によって改めて感じました。アナログ画像処理技術の衰退後、デジタル画像には十分な取り組みを行わずにいましたが、デジタル画像処理技術をもっと深く探り、磨くことが次のステップへつながることに確信を得たのです。また面談をして思いの外、多くの社員が画像処理を得意としていることを知り、既存ビジネス拡大の可能性に役立てることができることを感じました。

企業理念

KIMOTOは、技術開発型の企業としてグローバルに発展することにより、顧客・株主および従業員の満足を得ることに努め、地域の発展と繁栄に寄与し、地球環境をまもり、未来に向けて社会と共に前進します。

企業行動規範

この行動規範は、株式会社きもとグループが社会の信頼を得るために、役員および従業員一人ひとりが業務を遂行するときに企業倫理の観点から遵守すべき基本的事項を定めました。私たちは、より質の高い行動規範として実行していきます。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 法令やルールの遵守と企業倫理 | 6. 社会とのコミュニケーション |
| 2. 顧客の信頼獲得 | 7. 情報などの適正な管理 |
| 3. 取引先との信頼関係 | 8. 政治・宗教との関係 |
| 4. 株主・債権者の理解と支持 | 9. 反社会的勢力および団体への対処 |
| 5. 社員・従業員の連帯と自己発現への環境づくり | 10. 地域社会との共生 |

Top Message

フリーシート、女性社員について

情報インフラの整備に伴い、情報の流れ方が急に早くなった気がします。その変化に対応するため、3年位前からオフィス内の個人の固定席を無くすフリーシート、女性社員が働きやすくなるための施策を考えていました。

情報化社会の中で今やコンピュータを通じたコミュニケーションが多く、職場では誰もが画面に向かっていきます。それが、フリーシートであればコンピュータを介さず部署や地位に関わらず誰とでも会話ができます。すばらしく人間らしい会社になったと思いました。

また女性社員が生き生き働いて、責任を持った仕事ができ、かつ出産や育児のために休職しても60歳までの自分の人生をイメージできるようにするために、女性のプロジェクトを発足しました。

KIMOTO ファームプロジェクトについて

三重工場がある三重県いなべ市では、過疎化が進んでいます。そこでKIMOTOでは民家や農地をお借りして、KIMOTOファームという再生プロジェクトを計画しています。自分たちで農地を耕し、福利厚生のひとつである「味の

便り」で全従業員にお米を配ることができれば嬉しいことです。KIMOTOができることは小さなことかもしれませんが、地元の活性化のために少しでもお役に立つことができればと考えています。

少年野球チームをアメリカへ招待

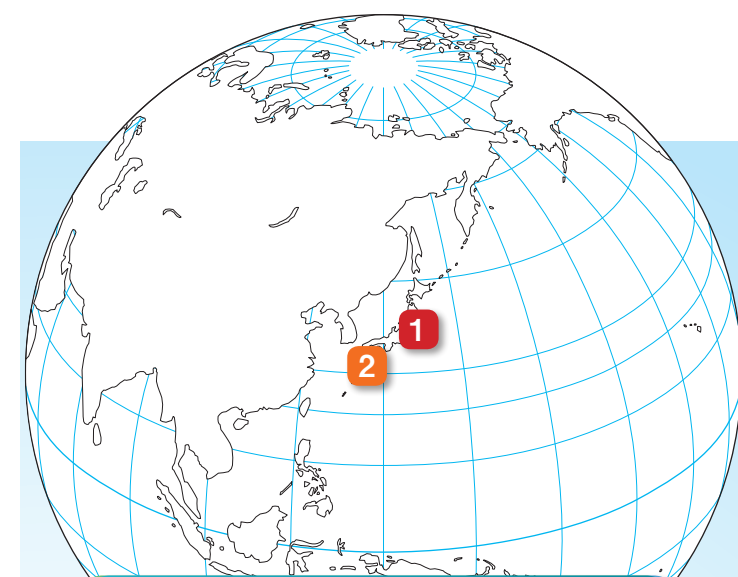
毎年、三重工場ではKIMOTO杯スポーツ少年団軟式野球大会を開催しています。2009年11月に第5回が終了いたしました。第10回目を迎えるときには優勝チームをKIMOTO TECH,INC. の工場があるアメリカジョージア州にご招待し、地元の少年野球チームと交流していただこうと考えております。

品質保証について

2010年4月から品質保証室を品質保証部に変更いたしました。製品に不具合を感じたお客様によるお申し入れから、是正結果の報告までのプロセスをより明確にし、お客様が是正後にも幸せな気分でKIMOTOとお付き合いいただけるようにするために、品質部門を大きくしました。CSRの観点からより充実したQMSをめざします。

KIMOTO の品質を支え、 つなぐグローバル人材

KIMOTO の全従業員は、徹底した品質管理を行い、地球規模での環境保全と安心・安全な社会への貢献を行っています。



3 KIMOTO POLAND Sp.z o.o. (ポーランド共和国)

常に初心を忘れず、製造の改善・改良を行い、最大限の能力を引き出し、お客様からの要求に応えられるよう、細心の注意をはらっています。



ADELA
PAWLACZYK

4 KIMOTO AG (スイス連邦)

インクジェット機器サプライヤーと提携し、代理店などに技術指導を行い新製品開発および品質責任者として、お客様が満足するようにサポートしています。



CHRISTOPH
BOSSHARD

KIMOTO 全社員数 (単体)

	所在国	正社員 (人)
株式会社きもと	日本	630
株式会社キモテクノ	日本	14
KIMOTO TECH, INC.	アメリカ合衆国	67
KIMOTO AG	スイス連邦	10
KIMOTO POLAND Sp.z o.o.	ポーランド共和国	33
瀋陽木本実業有限公司	中華人民共和国 (瀋陽)	144
木本新技術 (上海) 有限公司	中華人民共和国 (上海)	8
合 計		906

1 KIMOTO 茨城工場

フィルムコーティングに使用する塗工液を製造する際に使用する容器は他の塗工液の混入を防ぐために、洗浄を特に入念に行い、製品品質の安定化と向上をめざしています。



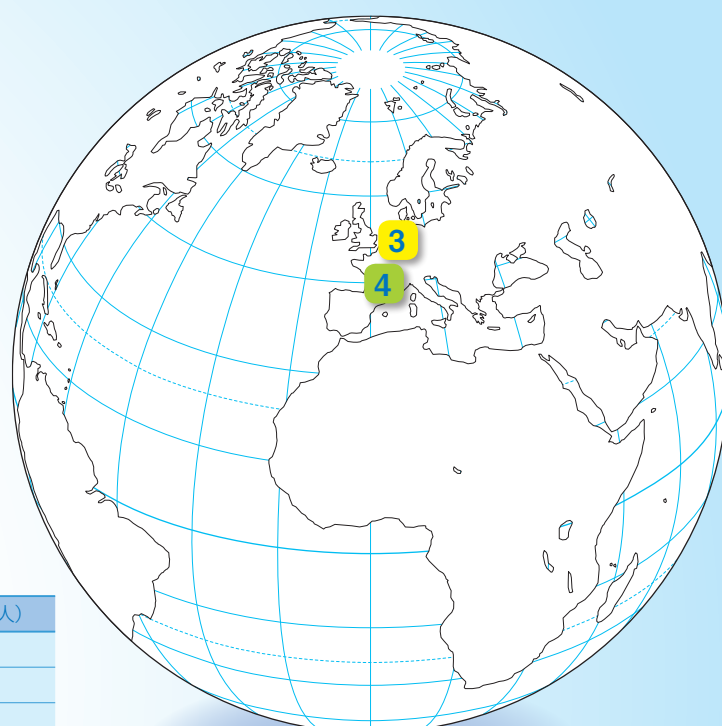
金澤 勇輝

2 KIMOTO 三重工場

安定した品質レベルを維持するため、製品加工時の品質は入念に確認し、さらに塗工設備や環境整備 (クリーン) の管理にも尽力しています。



服部 一彦



TOPICS 1

スーパークリーン工場 稼動開始!

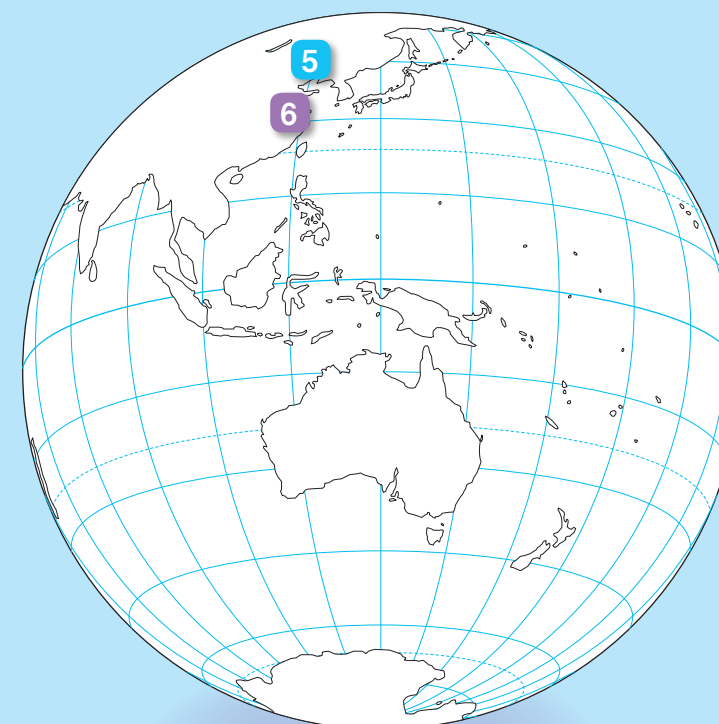
三重工場では、2009年8月より原材料の搬入から表面加工用の塗料製造、コーティングマシンでの塗布加工、最終工程である仕上げおよび包装までをクリーン環境下で行うスーパークリーン工場が稼動しています。



TOPICS 2

環境配慮製品を米国で展開

KIMOTO TECH, INC. では有害な薬品を使用しない地球環境にやさしい印刷版システム、キモセッター525を発売し、高品質ノンケミカルプレート・キモプレートZeとともに一号機をイリノイ州の政府機関へ納品いたしました。



5 瀋陽木本実業有限公司 (中華人民共和国)

事前準備が十分であれば、安定した高品質の製品をつくることができます。品質管理に終わりはありません。お客様のニーズに応えられるよう品質を高めるため、常に細部にまで気を配っています。



宋 振貴

6 木本新技術 (上海) 有限公司 (中華人民共和国)

微細な異物でもフィルムの品質には影響を及ぼすため、作業現場の環境には最善の注意をはらっています。お客様に満足して使用していただくため、常に品質向上をめざしています。



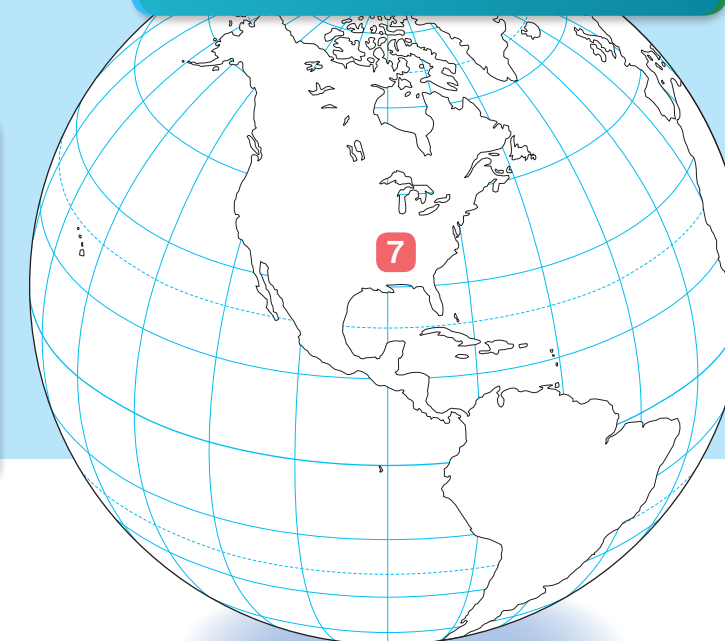
楊 寅清

7 KIMOTO TECH, INC. (アメリカ合衆国)

品質保証の主要原則は、初めから正確に目的へ適合することです。そのために私たちは、全製品の品質基準を定め、最高品質の製品のみ製造されるよう生産を支援しています。

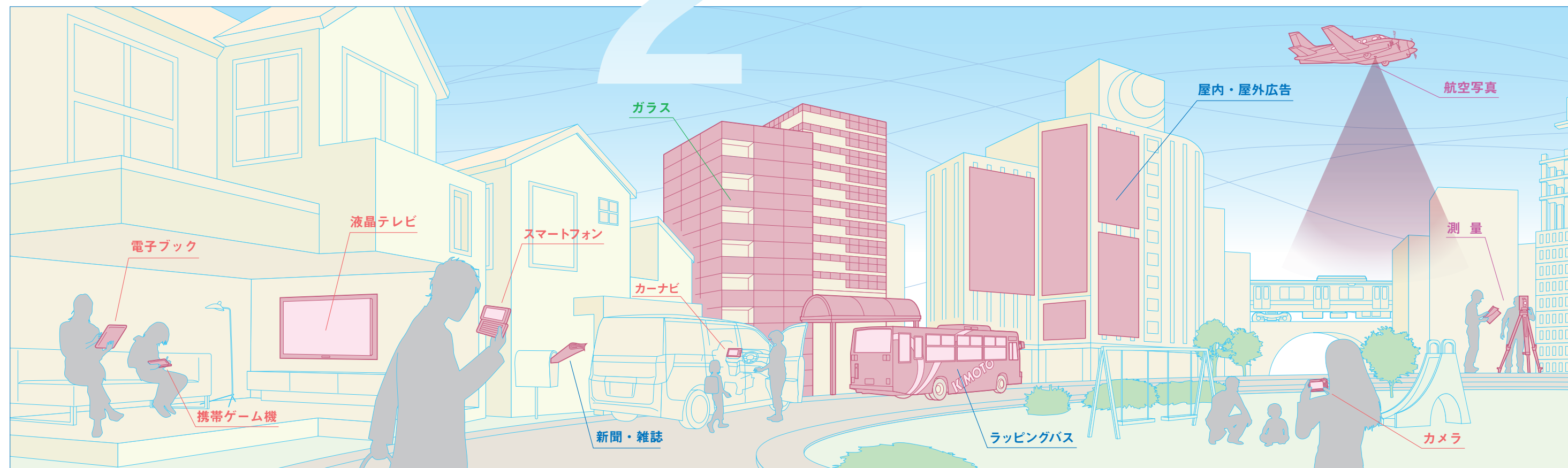


SHERRY
WHALLON



KIMOTOの製品と社会

薄型テレビ、携帯電話、OA機器、カメラ、印刷資材、広告、掲示板、地理空間情報システム——
えっ、こんなところに、と思える意外なもの、意外な場所でKIMOTOの製品が活躍しています。
今日、あなたはいくつのKIMOTOに出会うでしょうか。



エレクトロニクス

- ・**ライトアップ（光拡散フィルム）**は、液晶画面の輝度向上、光ムラを解消するフィルムです。大型液晶テレビ、パソコン、携帯電話、ゲーム機などのきれいな表示に役立っています。
- ・**KBフィルム（ハードコートフィルム）**は、タッチパネル製品の表面に使用され、表面が傷つくことを防いでいます。スマートフォン、ゲーム機、カーナビゲーション、電子ブックなどに利用されています。
- ・**キモテクト**は、電子製品などのプリント基板製造の回路作成時にフォトマスクの保護用として使用されるフィルムです。プリント基板製造の安定化と効率化に役立っています。

- ・**プロセーブ**は、精密部品の製造・加工工程で弱粘着性能を利用して仮止めをするフィルムです。小型部品の飛び散り防止などに役立っています。
- ・**カーボンフェザー（黒色導電性フィルム）**は、一眼レフ、デジタルカメラ、ビデオカメラなどの光学機器に使用され絞りやシャッター羽根に使用されているフィルムです。ポリエステル素材ですので、今までの金属より軽く、耐久性、遮光性にも優れています。

グラフィックス

- ・**インクジェットメディア**は、インクジェットプリンタ用の出力用紙です。PET、塩ビ、布、紙など多くの素材があります。大きなポスターや看板など屋内、屋外で多く使われています。
- ・**キモセッター 525**は、印刷業務のCTPシステムの出力機（プレートセッター）です。インクジェット技術を利用して印刷版を作製します。コスト削減、環境保護、業務の効率化に役立っています。
- ・**カラーマネジメントツール**は、印刷業務のデザインから色校正、最終印刷物までの色管理を行い、最終印刷物（製品）の品質の安定性を確保することに役立っています。

地理空間情報システム

- ・**地理空間情報システム**は、官公庁や公益企業の業務で構築された情報（地図および台帳類など）を数値（データ）化し、コンピュータ上で空間的に管理、運用するシステムです。

ウインドウフィルム

- ・**ラクリーン**は、光触媒の性能を利用した自浄作用のあるフィルムです。紫外線と雨などの水の力で付着した汚れを洗い流します。洗浄しにくい屋外看板、標識、天窓などに使用されています。また、熱線を反射吸収する性能や、ガラスの飛散を防止する性能を併せ持つ複合製品もあります。

ライトアップ

液晶テレビ



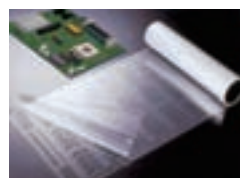
KBフィルム

携帯ゲーム機・電子ブック



キモテクト

カーナビ



プロセーブ

スマートフォン



カーボンフェザー

カメラ



インクジェットメディア

屋内・屋外広告



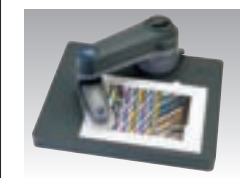
キモセッター 525

印刷



カラーマネジメントツール

雑誌・新聞



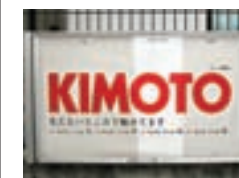
地理空間情報システム

測量



ラクリーン

ガラス



KIMOTOの社会貢献活動

より良い社会の実現に向け、世界各国の人々とコミュニケーションを通じ、市民社会への貢献活動を行ってまいります。

日本

茨城県古河市立保育所へ窓貼り用フィルムを施工

コミュニケーション部会では地域社会への貢献活動の一環として、自社製品である窓貼り用フィルムを茨城工場のある茨城県古河市立の保育所に無償提供し部員自ら窓貼り施工を行いました。



市立上辺見保育所

2009年9月1日に古河市役所の福祉部子ども福祉課長の岩崎様を訪問、趣旨を説明し、市立の第二保育所と上辺見保育所の2ヶ所を選ん

でいただきました。現地にて各所長にお話を伺い、ガラスの飛散防止用フィルム「グラステクト50Li」を使用することいたしました。施工前には自社の窓ガラスにて十分に練習を行い本番に望まし

KIMOTOの社会貢献活動で、ご好意により上辺見保育所内のサッシや窓ガラスなどに、飛散防止フィルムを無償で貼っていただきました。当保育所には、0歳から6歳までの子供たちが115名と職員30名がおります。子供たちの安全な保育に配慮していただき感謝しています。



古河市立上辺見保育所長 堀 えみ子様



市立上辺見保育所の窓貼り作業風景



古河市長よりいただいたお礼状



市立第二保育所の窓貼り作業風景

た。休日に作業をすることで施工は無事完了し、各保育所長からは園児の安全確保への協力で感謝され、古河市長の白戸仲久様からは市行政に対する協力のお礼状をいただきました。

今回の活動で、地域住民の皆様にはKIMOTO製品を身近に感じ、ご理解いただけたものと思います。

日本盲導犬協会への募金活動

コミュニケーション部会では、2009年12月に本社、技術開発センター、茨城物流、茨城工場、三重工場の5ヶ所に日本盲導犬協会の募金箱を設置いたしました。日本全国で1,000頭の盲導犬に対し、目の不自由な人は38万人もいます。盲導犬はまだまだ足りないのが現状です。そのようなことから少しでも多くの盲導犬を育てていただきたく、日本盲導犬協会へ募金することに決定いたしました。募金箱の設置とともに書き損じハガキや未使用切手などの回収を行い、約4ヶ月間の活動でしたが全国よりハガキ・切手回収で35,963円、募金で13,577円が集まり、(財)日本盲導犬協会に寄付いたしました。日本盲導犬協会仙台台訓練センターからはお礼状をいただいております。



KIMOTO 球場で「第5回 KIMOTO 杯 スポーツ少年団軟式野球大会」開催

三重工場では、地域の活性化、また地域住民とのコミュニケーションを目的に、2009年10月31日にオープンしたKIMOTO球場を中心に3球場で、11月28、29日に第5回KIMOTO杯スポーツ少年団軟式野球大会を開催いたしました。いなべ市と東員町から14チームが参加し、白熱した試合が繰り広げられました。

中華人民共和国

思いやりで人の心を暖めよう

瀋陽木本実業有限公司では、コミュニケーション向上を目的に、毎年社員旅行に行きます。2009年8月14、15日の二日間で、遼寧省本溪市桓仁観光地に行きました。今回はCSR活動の一環として、会社近くの母子家庭の親子に会社の費用負担で参加していただきました。社員旅行に同行したことにより私たちの社会に対する貢献や社会からの思いやりを感じていただけたと思います。また参加された親子からお礼状もいただきました。

今後も思いやりで人の心を暖め、地域社会へ貢献を続けていきます。



アメリカ合衆国

KIMOTO TECH, INC. による社会貢献への取り組み

KIMOTO TECH, INC. では、会社を取り巻くさまざまな人たちとの関わりの中で、皆様のニーズや価値観を企業活動の意思決定プロセスに取り入れています。たとえば、就職前の高校生を招いての工場見学や地元野球少年たちへの就業時間外のグラウンドの開放、またスポーツイベントや祭りなど地元行事への寄付などを行っています。他には環境活動への配慮としてリサイクル運動にも注力しています。これらの活動により経営陣と従業員は自分たちの仕事に誇りを持ち、より真剣に社会貢献活動に取り組んでいます。



KIMOTOのCSRデータマップ

KIMOTOグループのCSR活動全般をより広くお伝えするために、
関連した数値情報について開示を進めてまいります。開示内容に関しては、随時見直しを行い、
KIMOTOグループらしいCSR活動の向上に努めます。

活 動 内 容	2008 年度結果	2009 年度結果
社会性		
正社員数 日本【名】	615	630
男性 正社員数 日本【名】	503	515
女性 正社員数 日本【名】	112	115
採用社員数（新卒＋キャリア）【名】	24	20
取締役数【名】	8	7
監査役数（社外監査役含）【名】	3	4
平均年齢	38 歳 1 ヶ月	38 歳 5 ヶ月
平均勤続年数	14 年 9 ヶ月	15 年 3 ヶ月
女性管理職数【名】	3	3
労働災害件数【件】	4	3
労働災害度数率（＝労働災害による死傷者数×1,000,000／延労働時間数）【％】	0	0
労働災害強度率（＝（労働損失日数／延労働時間数）×1,000）【％】	2.96	2.22
休業災害件数【件】	4	3
労働損失日数【日】	5	3
出産休暇制度 利用者数【名】	6	4
育児休暇制度 利用者数【名】	6	5
育児のための短時間勤務制度 利用者数【名】	8	8
イベント休暇利用人数【名】	39	49
IR ニュース配信回数【回／年】	2	2
配当額【円／年】	10	6
エコキャップ回収数【個】	13,274	38,728
支店、工場周辺清掃 開催回数【回／月平均】	1～2	1～2
KIMOTO 杯スポーツ少年団軟式野球大会開催【年間開催回数／参加人数・名】	1/800	1/1,000
まもらいだー参加車両数【台】	7	7
社会福祉法人 東京都共同基金会（赤い羽根基金）【円】	50,000	55,271
国連世界食糧計画 WFP 協会協議会寄付金【円】	100,000	100,000
日本盲導犬協会寄付金 未使用ハガキ、切手回収【円】	—	49,540
インターンシップの受け入れ人数【名】	4	2
交通安全講習会実施回数【年間開催回数・回】	1	1
防災訓練回数【年間開催回数・回】	2	2
環 境		
CO ₂ 排出量（エネルギー＋非エネルギー起源）【t】	12,190.0	14,096.1
電力使用量【千 kwh】	13,597.5	16,439.0
用水使用量（工業用水＋井戸水）【m ³ 】	321,262.8	308,285.0
水道水使用量（上水）【m ³ 】	9,709.0	9,521.0
燃料使用量（原油換算）【m ³ 】	1,689.9	1,997.6
重油【kL】	1,159.1	1,228.4
灯油【kL】	573.2	746.1
ガソリン【kL】	15.5	16.9
LPG【t】	0.2	0.2
コピー紙使用量（コピーカウント数）【千枚】	1,077.9	937.5
廃プラスチック発生量（産業廃棄物＋有価物）【t】	1,335.0	1,677.3
有機溶剤使用量【t】	1,321.6	1,423.8
廃溶剤発生量（特別管理産業廃棄物）【t】	369.1	390.5
ビリジン【t】	—	—
ホルムアルデヒド【t】	—	—
アセトニトリル【t】	—	—
2-アミノエタノール【t】	—	—
クロロホルム【t】	—	—
ジクロロメタン【t】	—	—
トルエン【t】	392.1	409.0
N,N-ジメチルホルムアミド【t】	—	—
廃油発生量（普通産業廃棄物）【t】	65.8	52.8
一般廃棄物発生量（事業系一般廃棄物）【t】	202.2	174.6
産業廃棄物排出量【t】	1,972.0	2,295.0
環境監査指摘件数【件】	50.0	21.0
有害物質管理対象数【件】	26.0	26.0
経済性		
売上高【百万円】	23,469	22,948
営業利益又は営業損失（▲）【百万円】	▲162	240
経常利益又は経常損失（▲）【百万円】	▲310	297
当期純利益又は当期純損失（▲）【百万円】	▲896	116
純資産【百万円】	17,691	17,763
法人税等（調整額含む）【百万円】	157	118
研究開発費【百万円】	869	989

※ 1 社会性、環境の数値は単体ベース ※ 2 経済性数値は連結ベース

コーポレート・ガバナンス

KIMOTOは、公正な企業活動を旨とし、株主様をはじめとするKIMOTOとかかわりのある皆様に対する責任を全うするため、常に十分な説明責任を果たします。

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

KIMOTOグループは、取締役会、監査役会を基本に継続的なコーポレート・ガバナンスの充実が経営の最優先課題であると考え、諸制度の整備と透明性の高い情報開示の実施を適時行うとともに、高い自律性、効率性ならびに競争力のある経営体制の確立を目指し、企業価値の向上を図っております。

KIMOTOにおいては、株主の皆様に対する経営陣の責任を明確化するため、取締役の任期を1年としております。また、経営会議、常務会等を設置せず、重要な業務執行および法定事項の決定ならびに業務執行の監督は、すべて取締役会で行っております。常勤監査役および社外監査役は、定例に開催されるすべての取締役会に出席し必要な意見を述べるとともに、取締役の業務執行状況の監査を実施しております。

KIMOTOは、以上のようなコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方に基づく諸施策を実行し、企業価値または株主共同の利益の確保・向上をめざしてまいります。

内部統制システム評価体制

KIMOTOではグループ会社も含め「財務報告に係る内部統制」の評価を2008年度より実施しております。内部統制システムの整備、運用に係る不備、統制不足が見受けられた場合にも、すばやい改善を図る体制を構築しております。

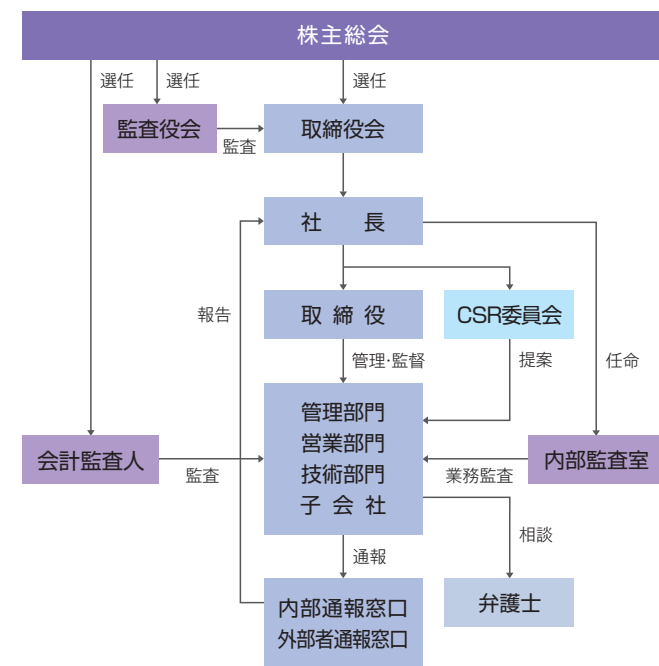
今後も、「財務報告に係る内部統制」の更なる有効性確保のため、KIMOTOグループ全従業員が力を合わせてまいります。

リスクマネジメント

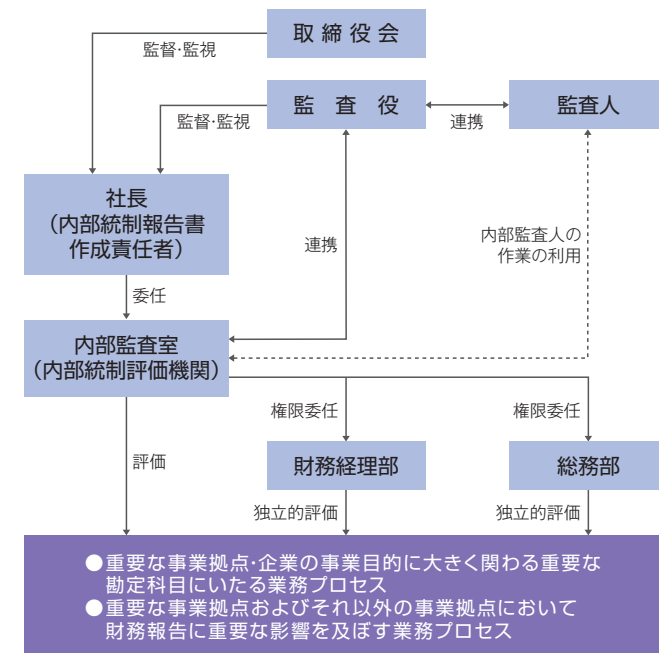
2009年度は、得意先倒産対策、交通安全、新型インフルエンザ対策、情報漏洩のリスクチェックを実施し、リスクに対する事前準備や発生時の対処方法を確認いたしました。

交通安全では、社有車に一ヶ月間ドライブレコーダーを搭載し、各地で交通安全講習会を実施しました。

新型インフルエンザ対策では、6回の全社連絡(出張禁止、咳エチケットの案内、発熱時の対応、発熱センターの案内、医療品の個人備蓄の案内、罹患時の連絡方法と出社停止について)を発信しました。そのほか、衛生資材の配備や工場の補助要員の選定、安否確認システムの運用テスト等を行いました。



■財務報告に係る内部統制の評価体制



社会の中で、社会とともに。KIMOTO は、社会に開かれた企業として、本業をとおり社会的な役割を全うします。

株式会社きもと CSR 基本方針

株式会社きもとは、事業活動に伴い生み出される経済的価値のみに着目することなく、自発的に社会的価値と責任を重視し社会の持続的な発展に貢献する経営を行うために、以下の方針を定める。

- ・事業活動にかかわる法律を遵守し、善良な企業あるいは企業人としての姿を追求する。
- ・環境保全活動に注力し、可能な限り環境負荷を低減する事業活動を展開する。
- ・顧客重視の事業活動を行うことで、顧客との相互発展を通じて社会貢献を目指す。

CSR推進体制・部会活動について

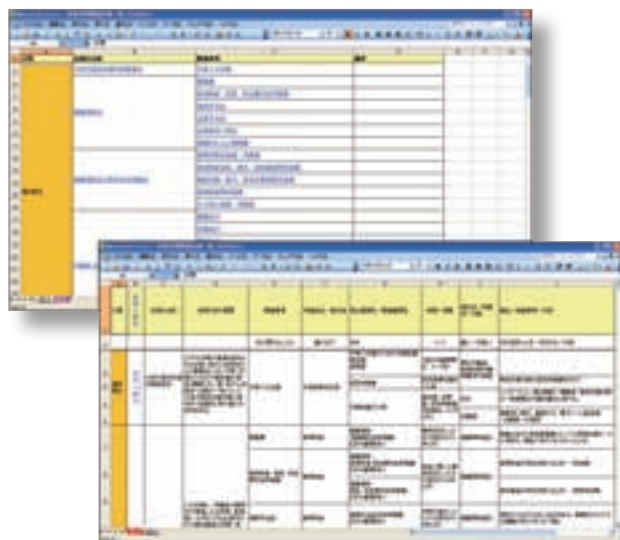
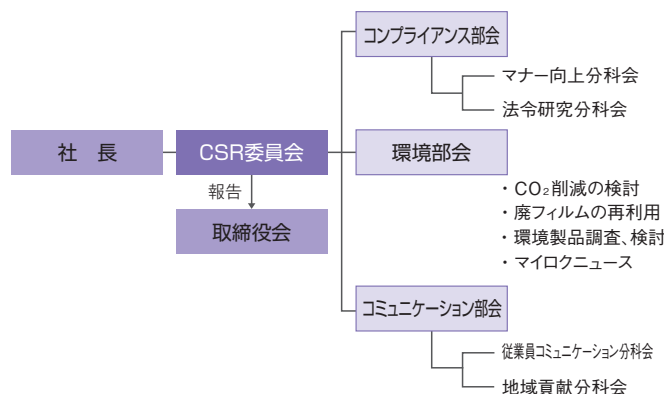
KIMOTOでは、2005年にCSR委員会を発足し、3つの部会を中心に、各組織への方向付けと活動推進に注力してまいりました。CSR委員会には、「コンプライアンス部会」「環境部会」「コミュニケーション部会」の3部会が設置されています。中でも「コミュニケーション部会」は、KIMOTOとかかわりのある人々を中心にさらにコミュニケーションをよくする部会として2009年度に発足されました。

各部会のメンバーは、社内公募も含め各10名位とし組織横断的にできるだけ多くの方に参加をしてもらっています。

KIMOTOでは、今後もさらに充実したCSR活動を行っていきたいと考えております。

法令に関する手続きマニュアル作成

事業活動にかかわる法律を遵守し、善良な企業あるいは企業人としての姿を追求するというCSR活動の基本方針から、環境(労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律)、販売取引(下請法、不正競争防止法)、労働者の権利保護(労働基準法、短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律)、福利厚生(次世代育成支援対策推進法、労働者災害補償保険法)、道路交通法などの法令をとりあげ、対応が必要な部署、提出が必要な文書などリスト化を行いました。今後は、各部署の法令遵守チェックシートとして活用してまいります。



KIMOTOは、公正な企業活動を旨とし、株主様をはじめとするKIMOTOとかかわりのある皆様に対する責任を全うするため、常に十分な説明責任を果たします。

ビジネスマナーのためのビデオと冊子を作成

コンプライアンス部会マナー向上分科会では、社内におけるビジネスマナーの実情把握を目的にアンケートを実施しました。その結果を参考にビジネスにおける基本ルールをまとめた「マナー冊子」と「マナービデオ」を作成いたしました。冊子では、基本的なビジネスマナーを取り上げ、ビデオでは、朝の挨拶から電話応対、接客対応、お客様のお見送りまでを実際の流れに沿ってわかりやすく映像化いたしました。引き続き冊子とビデオを活用し全社におけるビジネスマナーの向上を図るべく啓蒙活動を展開してまいります。



従業員プロフィールの作成

コミュニケーション部会は、全従業員の顔写真付きプロフィールを作成し、2010年4月より社内グループウェアで公開しています。KIMOTOには600余名の従業員がいますが、電話やメールでのやり取りだけで顔を知らない、さらには一度も関わったことがない仲間が数多くいます。そこで、全従業員の名前・趣味などの情報を集め、顔写真を撮影し、部署ごとにまとめて公開することにしました。社員相互に情報を提供することでお互いの意思疎通に、また新入社員が部署の先輩との交流を深めるツールとして有効に活用しようと考えております。



第一回フォトコンテスト開催

コミュニケーション部会では、第一回フォトコンテストを行いました。身近なテーマとして動物(ペットを含む)を選び実施した結果、全国の従業員から80点の応募がありました。いずれも動物やペットの豊かな表情が感じられるすばらしい作品で、従業員間のコミュニケーションの幅が広がられたように思います。最優秀賞は、笠ヶ岳の「オコジョ」が選ばれました。湯の小屋温泉から尾瀬に向かう途中の笠ヶ岳山頂で遭遇したようで、鳴き声に振り向くとすぐそばに「オコジョ」がいたそうです。また優秀作品12点を卓上カレンダーにして、応募者全員に配付いたしました。

※「オコジョ」ネコ目(食肉目)イタチ科に属する動物



マイロクニュース(環境冊子)

KIMOTOは、2005年より「チームマイナス6%」に参加しております。それに伴い、環境部会で「マイロクニュース」という社内報を作成しています。家庭やオフィスでできる身近なエコ活動の紹介から、エコポイントや各種補助金制度といった役立つ情報、さらにはCO₂による温室効果といった地球規模での環境問題まで幅広い記事を掲載してまいりました。

発行を重ねるごとに従業員からの反響も大きくなってきており、今後も従業員の環境に対する意識向上を呼びかけてまいります。



環境に関する啓蒙ビデオ「CO₂削減意識の向上」を作成

KIMOTOでは、現在環境配慮型製品の開発に力を注いでいますが、従業員一人ひとりの環境に対する意識を高めていくことにも大きく貢献するために、環境部会ではCO₂削減意識の向上を目的とし、身近なことから取り組めるCO₂削減の活動を紹介しています。これまでステッカーやポスターなどでの啓蒙を行ってまいりましたが、2009年は動画を作成いたしました。エアコンの設定温度やPCの節電、工場での歩留向上などをテーマとし、それぞれの少しの気づかいがCO₂削減に繋がることを訴える内容となっています。

環境部会では、今後もさまざまな方法で従業員の意識向上を図るよう引き続き努めてまいります。

環境に関するアイデアや情報の共有

環境部会では、環境に関する展示会や講演会に積極的に参加し、得た情報を定例会議で報告し、共有しています。部会メンバーでさまざまな情報を共有することで、メンバー自身の意識も向上し、新しい環境製品の導入検討や新製品のアイデア創出にも繋がっています。

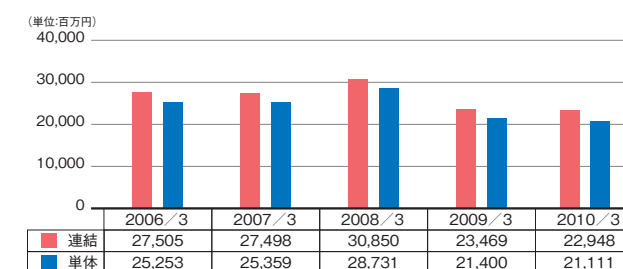


会社概要

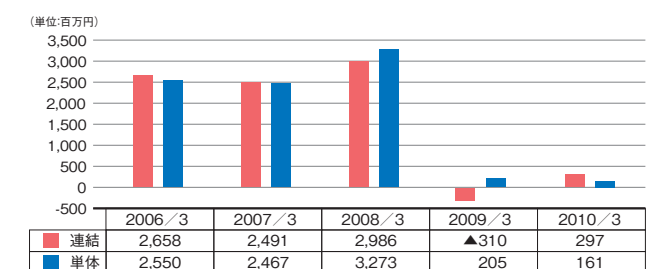
名称	株式会社 きもと	工場	三重県いなべ市、茨城県古河市
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿二丁目19番1号	技術開発センター	埼玉県さいたま市
設立	1952年7月2日	国内子会社	株式会社 キモトテクノ(東京都) 株式会社 ケー・プランナー(北海道)
資本金	32億7,400万円	海外子会社	KIMOTO TECH,INC.(アメリカ合衆国) KIMOTO AG(スイス連邦) KIMOTO POLAND Sp. z o.o.(ポーランド共和国) 瀋陽木本実業有限公司(中華人民共和国) 木本新技術(上海)有限公司(中華人民共和国)
従業員	630名(2010年3月末日現在)		
営業拠点	本店/東京都新宿区 支店/札幌市、仙台市、さいたま市、名古屋市、 大阪市、福岡市 営業所/つくば市 海外事務所/台北(台湾)		

財務情報

売上高



経常利益



編集方針

この「CSRレポート」は、KIMOTOグループの2009年度(2009年4月~2010年3月)のCSR(企業の社会的責任)活動についてまとめた報告書です。当社グループは技術開発型企業としてグローバルに発展することにより、地域の発展と繁栄に寄与し、地球環境をまもり、未来に向けて社会と共に前進すべく、CSR活動を推進してまいりました。本報告書は、当社グループとかかわりのある皆様、すなわちお取引先の皆様、株主・投資家の皆様、地域の皆様、ならびに従業員各位にお読みいただきたいと思います。

2009年は、2008年版の冊子の内容を踏まえ、特集形式での活動報告とトピックス、CSR活動全般の報告を情報開示すべくデータ・マップの二部構成にてまとめております。これからも読者の皆様のご意見をいただきながら、読みやすく、わかりやすい報告書をめざし、発行を続けてまいりたいと考えております。

対象期間:

2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで)活動を中心に、一部それ以前からの取り組みや、直近の活動報告も含んでいます。

発行時期:

2010年6月(次回2011年6月予定、前回2009年6月)
参考にしたガイドライン:「環境報告ガイドライン2007年度版」